

## ◆ 千代田都税事務所長賞 ◆

「思い出の場所は税金から」

千代田立麴町中学校 3年 上野 たばさ

眩しい日差しが降り注ぐ中、熱くなった遊具に座り、友達と笑い合いながらアイスを食べる。それが小学校時代の私にとって日常でありながら一番の楽しみだった。

中学生になった今、思い出の公園に立ち寄ったときふと、公園に使われる費用はどこからでているのかが気になった。家に帰り母親に聞いてみると、どうやら税金が使われているということがわかった。

それまで私は、税金は払うものという勝手なイメージがあった。特に消費税は買い物すると必ず払うことになる。しかし意外にも身近な場所で使われているようだ。

その一つが公園だ。公園に使われるのは、都市計画税という税金、これは市町村が、都市計画事業や土地区画整理事業に必要となる費用に充てるための税金でみんなが住む市町村の発展を目的としているそうだ。子供達が楽しく過ごせるのも税金のおかげなのかもしれない。身近に税金が使われている施設は公園だけではない。

青春を彩る、学生にとってあたりまえの場所、学校も税金が使われている。毎日使う教科書やパソコン、机や椅子、さらには、校舎を建設するのにも税金が使われている。これは一般的に「教育費」などと表現されるが、国税庁で公開されている財政情報としては、「文教及び科興費」というものが該当する。この費用は、学校に関わる備品等はもちろん、教育に携わる人の給料、他にも科学技術振興費という将来を見据えた研究や開発にも使われているそうだ。くわしく調べると、税金がさらに身近なものに感じてくる。

昔の写真フォルダーをあされば山のようにでてくる公園の写真。家族と遊んでいたすべり台、いつしか友達とくだらない話をする場所になっていたベンチ、落ち込んでどうしようもなくなったときに静かに座ったブランコ、たくさんの思い出をつくってくれた公園も、日々私たちが払う税金からできているんだ。

そして、今も学校という身近な場所に使われている。あたりまえに学び、出会い、ときには悲しさ、悔しさを感じる。そんな生活を支えているのは税金なのではないかと私は思う。私の将来の夢は教員になること、もしこの夢がかなえば税金がより身近で大切なものになるだろう。

最後に、私は多くの人に払う税金よりも、税金が使われる場所に注目してみしてほしい。きっと自分が思っているよりも身近で日常的な場所に使われていると気づくだろう。そして自分のこれまでの思い出をふりかえってみればその多くに税金が関わっているだろう。思い出、そしてこれからの未来も税金がなければなりたたないものばかりだ。私はそんな税金を大切にしていきたい。